

## 移住促進



たかはしいさお  
高橋功人議員

### 結婚応援事業の拡大は

答弁 補助要綱改正を検討する

**Q** 結婚応援事業の実績は。  
**A** にぎわい創出課長 10件を予定していましたが、現在まで2件の支援を行いました。  
**Q** 国が定めた要件に町独自の条件を付加できないのか。  
**A** にぎわい創出課長 国の補助事業ですが、町独自の予算を充てることで可能性はあります。  
**Q** 支援事業の対象年齢を40歳まで拡大できないか。  
**A** にぎわい創出課長 来年度から国の要件が39歳以下まで緩和される予定です。町でも補助要綱の改正を検討します。

今こそ様々な支援策を強化すべきときです

### 安全組織の見直しは

**Q** 「こどもあんしん110番の家」の登録数は。  
**A** 防災地域支援課長 現在5



このポスターやチラシは、移住を考える人々の心を動かししました。

## 安心安全



ほんだしげのぶ  
本多重信議員

### 命と安全、基本理念厳守を

答弁 里地里山保全の共同体づくりを進める

**Q** 太陽光発電計画は何箇所かで反対運動がある場合その理由は。  
**A** 環境農林課長 出力20キロワット以上の施設は152件で、町内全域に点在しています。反対運動は承知しており、理由は生態系や環境を損なう、土砂搬入の不安です。  
**Q** 町の基本理念「自然と共生したまちづくり」との整合性は。  
**A** 環境農林課長 里地里山保全の共同体づくりを推進します。  
**Q** 命と安全を守る対策を  
**A** 県道本田小川線バイパスの安全対策を人命優先安全第一に。  
**A** 建設課長 町道233号同2449号（通学路）には、信号機と横断歩道設置を警察に要望し、カーブミラー設置を検討

小川町の宝、緑と清流をしっかりと次世代へ



「バイパス」を横断、登校中の生徒。

## 生活道路



かさはらのりひろ  
笠原規弘議員

### 通勤時間帯の安全対策を

答弁 立て看板を設置し注意喚起を促す

**Q** 青山陸橋西交差点から大河公民館付近までの環状1号線は、令和5年に工事が完了する。大河公民館周辺の生活道路の安全対策は。  
**A** 建設課長 生活道路の安全確保のため、県や警察等と連携した対策が必要です。通過交通の安全対策は環状線の延伸が効果的であり、引き続き県への要望を続けていきます。  
**Q** 町内には抜け道として使われている生活道路が何箇所もある。安全対策について、地区やボランティアの方々と話し合う機会を設けるべきではないか。  
**A** 防災地域支援課長 「交通安全隊」や「交通安全母の会」と安全対策についての話し合いの場を設け、危険箇所の洗い出しを行っていきます。

### 街路灯維持に積極性を

**Q** にぎわいを照らしてきた「街の灯り」の更新希望者は約3割の状況である。補助金を検討すべきではないか。  
**A** にぎわい創出課長 活気ある商店街の維持と安全確保の観点から、商工会等と十分な意見交換を実施していきます。

## 森林資源



とくちまさる  
戸口勝議員

### 脱炭素社会への環境教育を

答弁 自然を守る姿勢を子供の心に育てる

**Q** 総面積の58%が山林に覆われている森林整備の状況は。  
**A** 環境農林課長 現在山林所有者から委託を受け、人工林面積の18・7%が埼玉県中央部森林組合により森林経営計画が進んでおり、効率的な伐採と保育が実施されています。  
**Q** 間伐材の利活用は。  
**A** 環境農林課長 主にバイオマスの利用のチップ材として、また木材としてベンチなどに使われています。当町を含む埼玉県中央部森林組合エリアでは、間伐可能面積の5%にとどまっています。利活用が少ない理由として、搬出するコストがかかることが考えられます。また、その後の利用もコストに見合った成果物にならないのが課題です。

里山の環境を、町民の手で再生させましょう



尊い命を守るためのメッセージ。無意味なものにしてはならない。



間伐や人材育成・確保、木材利用の促進費用に国税が充てられています。

ただひたすら「カレーづくり」に励んでいます。  
(I・Rさん 28歳)

縁側でビールを飲み、ちよつと贅沢なお刺身をいただいて、柚子風呂に入ること。  
(K・Nさん 40代)

YouTubeで自動車整備系チャンネルを見ること。  
(S・Sさん 40代)

月2回程度のゴルフと、妻を喜ばせる手料理です。  
(M・Nさん 64歳)

P.9からのつづきです！